



平成 20 年度 事業報告書

(平成 20 年 4 月 1 日から平成 21 年 3 月 31 日まで)

学校法人駒澤大学

平成20年度 事業報告書

目 次

・法人の概要

1．沿革	P．1
2．法人の設置する学校	P．2
3．所在地一覧	P．3
4．学校法人駒澤大学学生・生徒数	P．3
5．学校法人駒澤大学事務組織図	P．5
6．役員等の概要	P．6
役員	
評議員	
7．学校法人駒澤大学教職員数	P．6

・主な事業の概要

1．学部・学科の新增設等	P．7
2．教育・研究・学生支援	P．7
3．施設設備等の整備	P．12
4．管理・運営	P．14
5．地域社会との連携及び貢献	P．15

・財務の概要

1．資金収支計算書の推移	P．18
2．消費収支計算書の推移	P．19
3．貸借対照表の推移	P．20

法人の概要

1. 沿革

文禄元年（1592年）	江戸駿河台吉祥寺境内に「学林」設立
明暦 3年（1657年）	吉祥寺駒込に移転 中国の名僧・陳道栄が「旗檀林」と命名
明治 8年（1875年）	「曹洞宗専門学本校」を青松寺獅子窟学寮内に開校
明治 9年（1876年）	曹洞宗専門学本校を駒込吉祥寺に移して旗檀林と合併
明治15年（1882年）	麻布日ヶ窪に校舎を新築して移転、10月15日に校名を「曹洞宗大学林専門学本校」とし、 本学の開校記念日とする。
明治23年（1890年）	「曹洞宗大学林」と改称
明治37年（1904年）	専門学校令による大学として認可
明治38年（1905年）	校名を「曹洞宗大学」と改称
大正 2年（1913年）	大学を現在の駒沢（旧東京府荏原郡駒澤村）の地に移転
大正14年（1925年）	大学令による大学として認可、「駒澤大学」と改称
昭和23年（1948年）	駒澤大学高等学校を設置
昭和24年（1949年）	学制改革により新制大学に移行 仏教学部、文学部、商経学部の3学部9学科で再スタート
昭和25年（1950年）	駒澤短期大学仏教科第2部を設置
昭和26年（1951年）	学校法人令による学校法人駒澤大学に組織変更
昭和27年（1952年）	駒澤大学商経学部に第2部を設置 駒澤大学大学院人文科学研究科を設置
昭和36年（1961年）	駒澤エックス線技師学校創設
昭和37年（1962年）	駒澤短期大学に国文科・英文科を増設
昭和39年（1964年）	駒澤大学法学部を設置 北海道教養部、駒澤大学附属岩見沢高等学校・苫小牧高等学校を設置
昭和40年（1965年）	岩見沢駒澤短期大学国文科、苫小牧駒澤短期大学国文科・英文科を設置
昭和41年（1966年）	駒澤大学商経学部第1部・第2部を経済学部第1部・第2部に名称変更し、商学科を増設 駒澤大学大学院も昭和41年（1966年）から約10年の間に12専攻に
昭和42年（1967年）	駒澤大学文学部に地理学科・歴史学科を増設 駒澤短期大学に放射線科を増設 苫小牧駒澤短期大学に食物栄養科を増設
昭和44年（1969年）	駒澤大学経営学部を設置
昭和46年（1971年）	駒澤大学法学部と経営学部に第2部を増設
昭和47年（1972年）	駒澤大学法学部に政治学科を増設
昭和57年（1982年）	駒澤大学開校100周年
平成元年（1989年）	苫小牧駒澤短期大学を駒澤大学苫小牧短期大学に改称 岩見沢駒澤短期大学廃止
平成 4年（1992年）	「学林」設立以来400年を迎える
平成 8年（1996年）	駒澤短期大学に専攻科を設置
平成10年（1998年）	駒澤大学文学部に心理学科を増設 苫小牧駒澤大学開校、国際文化学部国際文化学科を設置 駒澤大学高等学校開校50周年
平成11年（1999年）	北海道教養部廃止
平成12年（2000年）	駒澤大学経済学部・法学部で昼夜開講制実施
平成14年（2002年）	駒澤大学開校120周年 経営学科で昼夜開講制実施 苫小牧駒澤大学に国際コミュニケーション学科を増設
平成15年（2003年）	駒澤大学医療健康科学部診療放射線技術科学科を設置 駒澤大学苫小牧短期大学廃止
平成16年（2004年）	駒澤大学大学院法曹養成研究科（法科大学院）を設置 駒澤大学附属岩見沢高等学校・苫小牧高等学校開校40周年
平成18年（2006年）	駒澤大学グローバル・メディア・スタディーズ学部グローバル・メディア学科を設置
平成19年（2007年）	駒澤大学経済学部に現代応用経済学科を増設 駒澤大学大学院に医療健康科学研究科を設置 苫小牧駒澤大学開校10周年
平成20年（2008年）	駒澤大学経営学部に市場戦略学科を増設

3. 所在地一覧

大学・短期大学	駒澤大学・駒澤短期大学	
	駒沢キャンパス	東京都世田谷区駒沢1-23-1
	深沢キャンパス	東京都世田谷区深沢6-8-18
	玉川キャンパス	東京都世田谷区宇奈根1-1-1
	苫小牧駒澤大学	北海道苫小牧市錦岡521-293
高等学校	駒澤大学高等学校	東京都世田谷区上用賀1-17-12
	駒澤大学附属岩見沢高等学校	北海道岩見沢市緑が丘5-102
	駒澤大学附属苫小牧高等学校	北海道苫小牧市美園町1-9-3

厚生施設：駒澤大学野尻寮（長野県上水内郡）・駒澤大学富浦セミナーハウス（千葉県南房総市）

4. 学校法人駒澤大学学生・生徒数

【駒澤大学】

（平成20年5月1日現在）

	学部・学科・専攻	入学定員	学生数	備考		
駒澤大学	仏教	禅	75	370	平成16年度歴史学科を3専攻設置。入学定員を変更 平成19年度昼夜開講制廃止、昼間主コース・夜間主コース募集停止、入学定員・編入学定員変更 平成19年度設置 平成20年度昼夜開講制廃止、昼間主コース・夜間主コース募集停止、入学定員・編入学定員変更 平成20年度設置 平成18年度設置	
		仏教	105	580		
		小計	180	950		
	文	国文	国文	125		688
			英米文	125		740
		地理	地域文化研究	65		356
			地域環境研究	60		316
		歴史	歴史	-		11
		歴史	日本史学	90		495
			外国史学	65		371
			考古学	35		187
		社会	社会学	60		348
			社会福祉学	80		377
		心理	心理	80		441
	小計		785	4,330		
	経済	経済	昼間主コース	-		972
			夜間主コース	-		352
		経済	360	860		
		商	240	1,171		
		現代応用経済	130	359		
	小計		730	3,714		
法	法律	昼間主コース	300	1,607		
		夜間主コース	150	666		
	政治	200	1,036			
	小計	650	3,309			
経営	経営	昼間主コース	-	1,474		
		夜間主コース	-	467		
	経営	330	416			
	市場戦略	180	215			
小計	510	2,572				
医療	診療放射線技術科	60	308			
GMS	グローバル・メディア	300	1,129			
合計		3,215	16,312			

GMS学部（グローバル・メディア・スタディーズ学部）

【駒澤大学大学院】

課程	研究科	専攻	入学定員	学生数	備考
修士課程	人文科学研究科	仏教学専攻	20	35	平成19年度設置
		国文学専攻	5	7	
		英米文学専攻	5	5	
		地理学専攻	5	8	
		歴史学専攻	15	26	
		社会学専攻	5	6	
		心理学専攻	10	26	
	小計	65	113		
	経済学研究科	経済学専攻	10	12	
	商学研究科	商学専攻	15	16	
	法学研究科	公法学専攻	5	2	
		私法学専攻	5	1	
	小計	10	3		
	経営学研究科	経営学専攻	10	11	
医療健康科学研究科	診療放射線学専攻	10	16		
計		120	171		
博士後期課程	人文科学研究科	仏教学専攻	5	17	平成18年度入学定員変更
		国文学専攻	2	0	
		英米文学専攻	2	1	
		地理学専攻	2	0	
		歴史学専攻	6	19	
		社会学専攻	2	2	
		心理学専攻	2	4	
	小計	21	43		
	経済学研究科	経済学専攻	2	9	
	商学研究科	商学専攻	2	2	
	法学研究科	公法学専攻	2	0	
		私法学専攻	2	0	
	小計	4	0		
	経営学研究科	経営学専攻	2	2	
計		31	56		
専門職学位課程	法曹養成研究科	法曹養成専攻	50	131	
大学院 合計			201	358	

【駒澤短期大学】

	科	入学定員	学生数	備考
駒澤短期大学	国 文	-	1	平成18年度より募集停止
	英 文	-	2	平成18年度より募集停止
	計	-	3	
	仏教（第2部）	-	2	平成18年度より募集停止
合 計		-	5	

【苫小牧駒澤大学】

	学部・学科	入学定員	学生数	備考
苫小牧駒澤大学	国際文化	国際文化	150	428
		国際コミュニケーション	50	68
	合 計		200	496

【附属高等学校】

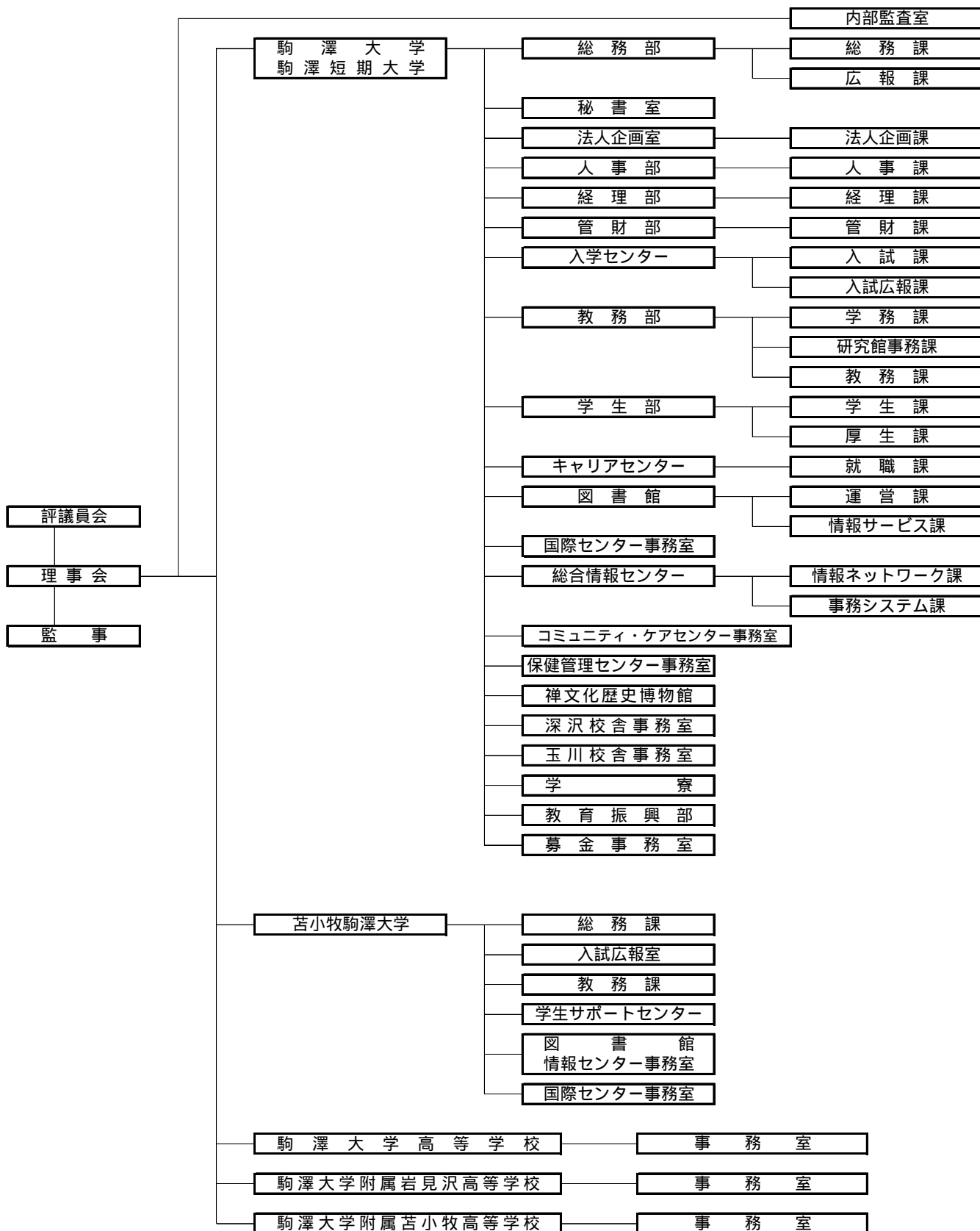
学校名	課 程	入学定員	生徒数	備考
駒澤大学高等学校	全日制普通科	500	1,489	
駒澤大学附属岩見沢高等学校	全日制普通科	180	297	
駒澤大学附属苫小牧高等学校	全日制普通科	300	855	
附属高等学校 合計		980	2,641	

法人全体	1,681	4,277	
------	-------	-------	--

入学定員に編入学・再入学は含まない。

5 . 学校法人駒澤大学事務組織図

(平成21年3月31日現在)



6. 役員等の概要

(平成21年3月31日現在)

役員

理事 20人

監事 3人

	氏名		氏名
理事長	佐々木 孝一	理事	浦 敏之
常任理事	池田 練太郎	理事	大津 百年
常任理事	川本 勝	理事	小玉 章紀
理事	須川 法昭	理事	石井 修道
理事	村松 延行	理事	山縣 弘志
理事	宮前 正道	理事	金子 昇平
理事	荒澤 義範	理事	滝田 公一
理事	鈴木 秀一	理事	清水 善和
理事	坂野 浩道	理事	小林 清次郎
理事	片山 晴賢	理事	岩根 嶺雄

	氏名
監事	淵 英徳
監事	森 嶺雄
監事	藏 山光堂

平成21年3月31日現在 理事2人欠員

評議員 54人

(寄附行為選任条文)		
第25条第1項第1号	教職員のうちから選任	(26~27人)
第25条第1項第2号	同窓生のうちから選任	(6人)
第25条第1項第3号	学生生徒の父母又は保証人のうちから選任	(2人)
第25条第1項第4号	理事のうちから選任	(15人)
第25条第1項第5号	学識経験者のうちから選任	(6人)
第25条第1項第6号	駒澤大学事務局長経験者のうちから選任	(3人以内)

平成21年3月31日現在 第4号評議員2人欠員

7. 学校法人駒澤大学 教職員数

平成20年度学校別教職員数(専任)

(平成20年5月1日現在)

学校名	教員	職員	教職員計
駒澤大学・駒澤短期大学	352	252	604
苫小牧駒澤大学	27	22	49
駒澤大学高等学校	58	7	65
駒澤大学附属岩見沢高等学校	24	4	28
駒澤大学附属苫小牧高等学校	45	8	53
計	506	293	799

．主な事業の概要

1．学部・学科の新増設等

【駒澤大学】

経営学部市場戦略学科の開設

経営学部経営学科夜間主コースを改組し、平成 20 年 4 月 1 日に開設した経営学部市場戦略学科（入学定員 180 人）は、1 年生 215 人の新入生を迎え順調にスタートしました。

大学院の課程変更(博士後期課程の追加設置)

平成 20 年 5 月末に医療健康科学研究科診療放射線学専攻課程変更申請を予定していましたが、平成 20 年度は文学部が過去 4 年間の平均入学定員超過率が 1.3 倍を超え、認可基準を満たすことができなかったため、申請を次年度に延期しました。

司法研究所の設置

平成 20 年 4 月 1 日開設した司法研究所は、特別講演会開催、リーガル・ライティングの実施、特別授業を開講するなど、順調に活動を開始しました。

2．教育・研究・学生生徒支援

【駒澤大学】

WEB履修登録システム

平成 20 年度中のWEB履修登録システムの構築については、プロジェクトチームにおいて約 1 年半の期間、あらゆる事態を想定し検討を重ねた結果、ほぼ目的を達成することができました。

情報教育の充実

平成 20 年度の主な取り組み

- ・ 動作不安定でシステムトラブルが多かったCALL（コンピュータを活用した外国語教育）システムを、教場リプレイスを機に新たなシステムにしました。安定動作を基本とした新システムでは、音声部分をアナログにした結果、PCを介しての動画配信、語学システムに長けたシステム等、大いに活用され学習効果の向上を図ることができました。
- ・ 平成 20 年度より情報機器のリプレイスを行い、大規模の利用に対応したシステムを構築したことにより、eラーニング活用に際し、安定した状況で稼働することができました。
- ・ eラーニングシステム「Yes Study」の広報活動により、目標値を大きく上回る利用実績を得ました。eラーニングの講習会を教員（学部別）・学生を対象に開催し、利用者を増やすことにより、教員・学生間のコミュニケーションを深め学習効果の向上を図りました。
- ・ 学生が最新のOSのVistaを使った環境で講義を受講でき、Word2007、Excel2007 など最新ソフトウェアを使用することにより、社会人となっても戸惑わないPC環境の構築ができました。

国際交流の推進・充実

交換留学協定校から派遣交換留学生として来日し、日本学生支援機構及び日本国内の団体から奨学

金を受けていない学生に対して学習資金を支給しました。

北京大学との交流進展とカイロ大学との協定締結を記念して、4月26日に駒澤大学国際文化交流講演会を開催しました。

就職支援・キャリア支援の強化

就職に及ぼす不況の影響を考慮し、就職ガイダンスは定例の年4回に加え、臨時のガイダンスを1回開催しました。また、3年生対象の「キャリア講座・実践就職講座・ミニガイダンス」は、目標の2倍以上の83回実施しキャリア支援の強化を図りました。その他、ミニガイダンスに「坐禅」を初めて取り入れ、好評を博しました。

私費外国人留学生の奨学金支援

私費外国人留学生に対して授業料の40%減免を実施し、経済支援を行うことにより、学業に専念できる環境にしました。平成20年度の減免採用者は237人でした。

法科大学院奨学金の拡充

駒澤大学法科大学院新入生奨学金はA種3人・B種3人に支給し、駒澤大学法科大学院奨学金は10人に支給しました。

F Dの推進

「学生による授業アンケート」の実施、11科目の公開授業の実施、F D研修会の実施、F Dニューズレターの発行等を計画どおり実施し、新たなF D活動の検討を行い積極的に推進しました。

研究活動の活性化

近年増えている受託研究、学外共同研究及び奨学研究寄付金に関する研究要望に応えるため、新たに規程を整備し、積極的に外部資金を導入することで研究活動の活性化を図り、教育研究の発展と社会的評価の向上に努めました。

特別研究の助成

駒澤大学特別研究助成及び出版助成に関する規程に基づき、特別研究助成総額の約70%を交付し、学術研究活動を推進しました。

電子図書館の推進

大学図書館として情報提供サービスの高度化のためオンラインデータベースによる文献情報を利用者へ発信、提供することにより、学術・教育研究の促進を図ることができました。図書選定委員会での広報や図書館ホームページに記載することで学内利用者へ周知し情報資源の共有を図りました。さらに契約データベースを統合利用するためのシステム(S F X)を導入し、利用者に必要な情報へのアクセスの便宜を図ることができました。

教育懇談会の充実

全国38会場において、大学の近況報告と学業・就職・学生生活の様子などを保証人(ご父母等)に説明すると共に個別面談会を実施しました。参加者の満足度については、96%の保証人より「参加し

て良かった」との回答をいただきました。

学生募集の強化

受験生、受験生の家族、高校教員等及び予備校講師等、志願へつながるあらゆる関係者へ双方向の情報交換と情報収集を行い、本学を印象付ける入試広報活動を展開しました。

平成 21 年度入試は、受験料の割引を導入した全学部統一日程入試では志願者を伸ばしましたが、センター試験利用入試、T方式、S方式では志願者を減らすこととなりました。

ホームカミングデーの開催

同窓会との連携により 11 月 2 日(日)に第 5 回ホームカミングデーを開催し、同窓生 703 人の出席を得て、在校生・教職員が互いに交流を深めました。

健康促進の支援

学校保健法に基づき定期健康診断、介護実習等の実習生に対する細菌検査及び、電離放射線健康診断の採血等を実施しました。また、新入生対象にアルコールパッチテストを実施し、新入生の約 40% の 1,592 人が受診しました。学生自身のアルコールに対する体質を確認するとともに、イッキ飲みの危険、アルコールに関する知識の提供を行うことができました。

【苫小牧駒澤大学】

エクステンション講座の改善

学生の基礎学力の向上から就職試験対策までを総合的に支援するため、エクステンション講座と就職支援講座を一本化し、名称を「キャリア講座」としました。

- ・全学生を対象に教養試験を実施したほか、人文・社会・自然科学の「基礎講座」を開設し、基礎学力の向上に取り組みました。
- ・資格取得を支援するため、eラーニングによる資格取得講座を開講しました。

高大連携教育の推進

駒澤大学附属苫小牧高等学校との高大連携教育を推進するために、入試広報・募生部門の「大学進学のための特別授業」(延べ 48 クラス)、宗教教育部門(仏教専修科)、英語教育部門、国際交流部門の授業を行いました。

学生研究発表会

今年度も研究結果の集大成にあたる「卒業研究(6単位)」を開講し、研究成果の発表の場として、学生研究発表会(7月)及び卒業研究発表会(3月)を苫小牧市文化会館にて開催しました。

就職支援の強化

就職試験対策として、3年生全員を対象にSPI対策試験を実施するとともに、SPI2対策のため「応用講座」を開設しました。

図書館機能の設備充実

自動貸出返却機をリース導入し、手続きの簡略化を図りました。

グループ学習コーナーを設置し、ゼミ発表の準備のほか、ミーティングの場として学生に提供しました。

学生募集の強化

平成 20 年度の主な取り組み

- ・本学ホームページに受験に関する情報を公開すると共に、進学相談会、校内ガイダンス及び校内講演と直接高校生と対面する広報活動を積極的に行いました。
- ・日本留学総合説明会台北会場への参加及び日本語学校において、日本留学希望者を対象に進学説明会を実施しました。(9月18日～23日)
- ・韓国留学生募集活動として、日本語関係の学科のある大学及び日本語学校等において、日本留学希望者を対象に進学説明会を実施しました。(9月23日～28日)

その他

(1) 授業・履修等の改善

- ・前期の全開講科目を対象に「授業アンケート」を実施して報告書をまとめました。この報告書は教職員に配付した後に、学生にも掲示板や学内LANを通じて公開しました。ここで挙げられた学生からの率直な意見は、各講義や教育環境においてフィードバックしています。
- ・教員の教育活動の透明化と、成績評価の厳正化を目的としたFD活動の一環として、今年度より各授業担当者に「活動記録シート」の実施を行いました。
- ・カリキュラム検討委員会において、合理的な科目配置と効果的な教員配置を検討し、平成22年度入学生からの国際文化学部カリキュラム(2学科7コース)を新たに整備しました。

(2) 特色ある講義

- ・苫小牧市現役幹部職員(副市長・部長)による苫小牧市特別講座「自治行政」「地方自治法」、北海道庁現役OB職員による北海道特別講座「財政論」を開講する等、実務経験豊富な講師陣による特色ある授業展開を心がけています。

(3) 履修制限制度

- ・今年度より1セメスターあたりの履修制限「26単位」を徹底し、予習・復習の時間を十分確保することに努め、一定の教育効果を上げることができました。

(4) 環太平洋・アイヌ文化研究所

- ・市民を対象としたアイヌ文化講座(刺繍・アイヌ語)を春(5～7月)、秋(9～11月)の2回行い地域文化理解の促進に努めました。アイヌ刺繍講座、アイヌ語講座を各々全10回開催しました。
- ・10月19日に「丸木舟が照らすアイヌ文化 - 厚真町内発見の丸木舟をめぐって - 」と題したシンポジウムを開催しました。

【駒澤大学高等学校】

環境教育の充実

平成18年度に長野県信濃町に県の森林里親制度により開設した「駒澤大学高等学校絆の森」において、学校林作りの体験を通じて、実践活動による環境教育を実施しました。

キャリア教育の充実

社会のニーズに対応する人材を送り出すため、各社会分野で活躍する方々を講師として招き、生徒

の職業に対する意識を高めさせ、健全な社会人となるべく人材の育成を図りました。

自転車の安全運転教育の強化

自転車の通行等に関するルール改正に伴い、所轄警察署から講師を招き通行ルール等の周知を図り、生徒の安全性とマナー向上に努めました。また、警視庁の「自転車の安全利用に関する教育モデル事業」へ参加し、自転車教育に関しての警察と学校との連携の在り方について検討を行いました。

学校評価の実施

教育活動について改善と教育水準の向上を図るため、教職員・保護者を対象に学校評価アンケートを実施しました。

【駒澤大学附属岩見沢高等学校】

学校評価の実施

平成 19 年度より教職員・生徒を対象に学校評価を実施しています。今年度はさらに P T A・同窓会・寺院・地域の校外関係者による外部評価を導入し、本校への期待や評価を調査し、ニーズを探ることによって信頼される開かれた学校づくりを目指す糧としました。

生徒募集の強化

オープンキャンパスや中学校への出張説明会等、様々な取り組みを実施しました。

クラブ活動の強化

野球部、サッカー部、吹奏楽部及び囲碁部を重点的に強化しています。

進学指導対策の強化

進路部が中心となり年間計画に従って模擬試験を実施し、7 時間授業及び個人指導を徹底して実施しました。

【駒澤大学附属苫小牧高等学校】

カリキュラムの見直し

平成 21 年度新入生向けに進学系 2 コースの履修科目を部分修正しました。併せて全 5 コースの見直しも行い、生徒のニーズに応えられるより効率的なコース制カリキュラムの構築を目指し、「教育課程編成委員会」を中心に、検討作業を進めています。

スイッチバック学習の実施

中学校段階の学習理解が十分でない生徒に対し、昨年度より入学後の早い時期にスイッチバック方式による基礎学力を定着させる学習指導を実施しました。

進学指導の強化

生徒の進路を明確にし、進路への関心・意識を高める目的で、企業・大学・専門学校等より関係者を招き、進路ガイダンスを年 3 回実施しました。

看護医療系の進学対策として、「苫小牧医師会」と「北大進学ゼミナール」の協力を仰ぎ、医療現場での看護体験等による職業理解教育と進学対策の学習指導を両輪にして指導しました。

高大一貫教育の推進

苫小牧駒澤大学との高大連携教育の一環として、大学の教員による特別授業の実施や少数民族の文化視察など、本校生徒の国際理解教育に有効な取り組みを行いました。また、宗門子弟を対象とする「仏教専修科」の講習指導でも、大学との連携を図りました。

生徒募集の強化

平成 20 年度の主な取り組み

- ・入試広報部（副校長）を中心に定期的に中学校や学習塾への訪問を重ねました。
- ・本校を会場に「学校説明会（オープンスクール）」を 3 回実施し、延べ 900 人を超える中学生の参加がありました。また市内や周辺町村に会場を設け、中学生を対象に「個人相談会」を実施しました。
- ・募生活動の一環として、小中学校からの依頼により、吹奏楽部が小中学校にて演奏を披露しました。これまでの生徒募集活動内容（オープンスクール・中学校訪問等）の充実と強化を図りました。

3. 施設設備等の整備

【駒澤大学】

本館改修建物診断

本館は、新耐震基準施行以前の建築物であるため第 1 段階として本館の耐震診断を夏季休暇中に実施し、12 月に報告書が提出され、計画どおりに耐震診断が終了しました。

本校キャンパス東側道路付替第 3 期工事（平成 22 年度中完成予定）

修道館・仏教研修館の解体工事は、平成 20 年 9 月に着工し、平成 21 年 4 月に終了しました。この間、東門を遮音性の向上と目隠しを目的として鋼板式に変更すると共に、隣接する塀に防音パネルを設置しました。また、仮設売店から北門の塀際に遮音と目隠しを目的として植栽帯を新設しました。

玉川キャンパス西側道路整備工事

玉川キャンパスの施設整備に伴う道路の整備・緑地整備工事は、大きな問題もなく完了しました。

厚木総合グラウンドの整備

厚木総合グラウンド内の厚木市市道（赤道）計 1,335.58 m²と、本学所有の周辺道路計 1,339.49 m²を等価交換しました。また、厚木市消防本部に無償貸借していた土地 182.86 m²を売却し、厚木総合グラウンド内の厚木市市道（青道）計 594.24 m²を買収しました。これにより厚木総合グラウンド内はすべて本学所有の土地となりました。

アスベスト除去工事

除去工事は 8 月 1 日～ 9 月 12 日の期間（夏季休暇中）に実施し、無事に竣工しました。本館 1 階ピ

ロティは、大学を構成する多くの人々が集う場でもあり、今回、アスベスト除去工事が完了したことで、より安全な空間が確保されることになりました。

ネットワークシステムのリプレイス

トラブルが多かった研究室等の教育系のネットワークは、平成 20 年度から安定稼働ができました。無線 LAN での KOMAnet 使用機会が非常に増え、一斉集中アクセスにより既存の無線 LAN のアクセスポイントだけでは対応しきれない症状が発生しましたが、有線 LAN との併用で乗り切るなどの対策を講じました。ネットワーク全体から見ると、セキュリティシステムによるネットワーク接続障害は多少発生しますが、サポートの範囲で円滑に授業や事務に影響なくネットワークの提供ができました。

6号館1階学生食堂化改修工事

玉川キャンパス部室棟建設

玉川キャンパス弓道場建設

本校キャンパス再開発計画の遅れ等の理由により、平成 20 年度内に着手できませんでした。

【駒澤大学高等学校】

人工芝敷設工事・第4期リニューアル工事

開校 60 周年記念事業の一環として、平成 17 年度から順次進めている環境整備工事計画のうち、平成 20 年度は、グラウンド・テニスコートの人工芝敷設工事及び第 4 期リニューアル工事として本館校舎の教室・廊下等の改修工事を行いました。

施設設備省エネルギー化対策

環境問題に対する省エネルギー化の取組みとして、世田谷区エネルギー消費量報告書制度を利用し、省エネ診断費用助成制度により実施した省エネ診断に基づき、省エネ機器の導入やランニングコストの削減に取り組みました。また、国土交通省より募集された平成 20 年度既存住宅・建築物省エネ改修緊急促進事業プロジェクトにおいて、新館・別館空調機更新事業プロジェクトが採択されました。

情報教育機器・備品の購入

情報処理教育の充実を図るため、教育支援ソフト (SKYMENU) ・ e ラーニングシステム (eLearningManager) ・ コミュニティウェア (Netcommons) ・ MicrosoftOffice ソフト (SchoolAgreement) の新規導入を行い、それに対応可能なパソコン・サーバー類を更新しました。また、第 2 情報処理室机の新規入替えを行いました。

【駒澤大学附属岩見沢高等学校】

学生寮の整備

学生寮の洗面所・風呂場・トイレの排水管を改修しました。

情報教育機器の整備

平成 20 年度は、視聴覚教室内の老朽化したパソコン等を入れ替える予定でしたが、故障時は部品交換で補い、平成 21 年度よりリースの計画を立てることにしました。

4. 管理・運営

【駒澤大学】

デリバティブ取引

デリバティブ取引に関し、平成 20 年 10 月末から 11 月初めにかけて通貨スワップ取引解約に伴う精算のために 154 億 5,500 万円の損失を生じました。再発防止に向けて、内部統制システムや法令遵守の体制を整備検討する委員会を設置し、資金運用に関する責任ある意思決定と執行管理がなされる体制を確立すべく、全学を挙げて取り組んでいます。

駒澤大学改革委員会

全 24 回開催し、実効性のある大学改革を図るため、教育研究・事務組織等の諸問題について検討しましたが、11 月以降議論の前提が大きく揺らいだため、本格的な提案を提示するには至りませんでした。

駒澤大学キャッチコピーを学内外より公募し、ホームページ・広報等で活用しています。

施設設備の維持管理

本法人出資の事業会社との契約を通して、大学施設・設備の維持管理・清掃・警備業務を専門業者へ委託し適切な維持管理ができました。

事務消耗品の効率的調達

事務消耗品を WEB 上で申請・購入することで業務の効率化を図りました。また、安価な商品を推奨することにより経費を節減しています。

事務組織の改革

平成 20 年度から新たに「内部監査室」を設置しました。予定した定期監査を 7 部門に対し実施しましたが、デリバティブ取引による損失問題の影響により、北海道諸学校については、中間報告を提出するに留まってしまいました。監査報告を行った部署に対する監査効果は、次年度のアフターケア監査による判断となります。また、特別調査委員会への調査支援は、報告書の完成により一定の成果を得ました。

労務管理システムの運用開始

就業管理システムの導入により WEB 上で申請・承認・決裁を行うシステムの運用を開始し、就業に関する手続きを効率化しました。

広報活動の強化

広報委員会の立ち上げは中断していますが、その他の広報活動は、学園通信の冊子化及びホームページでのブログ構築等、予定していた事業を実現しました。

【苫小牧駒澤大学】

経常経費の是正

・人件費の削減（基本給について、教授 18%減、その他教職員 15%減、職責手当 10%減及び期末手

当を2.0ヵ月に抑制)を行いました。

- ・学業成績が優秀な学生を対象とする「学業奨学金規程」を改正し、年1回の選考を年2回(前期・後期)に改め、半期ごとに学生の勉学意欲を喚起するとともに、春期入学者と秋期入学者の不公平を是正しました。

【駒澤大学高等学校】

開校60周年記念行事

10月18日に開校60周年記念式典と祝賀会を開催しました。

第2号基本金の新規組入れ

新設された第2号基本金(駒澤大学高等学校校地拡張事業資産)により、隣地取得資金の一部となる8億円について、平成20年度から平成25年度まで先行組入れを行います。平成20年度は3億円の組入れを行いました。以後各年度1億円の基本金組入れを行います。

募金事業

開校60周年記念事業募金を平成21年3月まで行い、記念事業による教育施設・環境整備事業の資金に充当しました。

【駒澤大学附属岩見沢高等学校】

経常経費の是正

人件費の削減(基本給の10%削減及び職責給の50%削減)を行いました。

【駒澤大学附属苫小牧高等学校】

経常経費の是正

収入面においては、平成21年度新入生の大幅な定員割れ(前受金の減少)等により非常に窮屈な状況下にあります。支出面においては、人件費の削減(期末手当の一部カット等)や一般経費(光熱水費等)の徹底的な削減に取り組み、確実に支出減少傾向にあります。

5. 地域社会との連携及び貢献

【駒澤大学】

生涯学習の推進

深沢キャンパスにて開催している公開講座は、社会全体の生涯学習に対する意識の高まりか、平成19年度と比較して受講生数が85%増加し、健康づくり教室の受講生数は2%増加しました。

せたがやeカレッジ

世田谷区と区内の大学が協働で運営している「せたがやeカレッジ」を通じ、区民や全国に向けインターネットを利用した新しい学習サービスに取り組みました。

法科大学院による法律相談の実施

第一東京弁護士会との連携により無料法律相談を6月と11月に実施し、大学周辺の住民からの申込者も20人を超えました。法律相談の開催は地域との連携を図ると共に、学生にとって法律相談の大切さを肌で感じる、意味ある法律学習となっています。

コミュニティ・ケアセンターの活動推進

個人・家族・地域社会等を対象に発達・教育・メンタルヘルスに関するカウンセリングを行っています。1カ月に平均112件の心理相談を行い、目標を上回る結果となりました。

禅文化歴史博物館

歴史的建造物を保存・活用し、禅の文化と歴史をテーマとした博物館として広く一般開放しています。企画展示として、「正法眼蔵」出版の足跡等のほか、在校生、卒業生等への展示室の貸出しを行いました。その他、禅博セミナー及び実践セミナーを開催し「ふれあい禅寺めぐり」を実施しています。

【苫小牧駒澤大学】

地域中学校・高等学校の英語教育の推進

胆振・日高圏内の中学生・高校生を対象とした、英語弁論大会を11月8日に開催しました。中学生23人（13校）、高校生10人（44校）が参加し、日頃の英語力が披露されました。今後も継続し実施します。

その他

- (1) 開学10周年特別事業として、苫小牧市並びに苫小牧信用金庫の共催により「素顔の伊東深水」絵画展（8月2日～10月13日）を開催し、苫小牧市内をはじめ北海道内各地から3,370人の来場者がありました。
- (2) 市民聴講制度
 - ・全開講科目のうち8割の科目を、市民に向けた聴講可能な科目として設定しています。より多くの市民が大学の授業に参加しやすいよう、聴講料金を見直した結果、社会人を中心とした26人の聴講生を受け入れました。
- (3) 苫小牧駒澤大学市民大学講座
 - ・地域社会の生涯学習活動の拠点となる市民大学講座「仏教と人間」を苫小牧市文化交流センターで開催し、およそ40人の市民が受講しました。
- (4) 施設貸出
 - ・市内高等学校勉強会、高等学校部活動、スポーツ団体、自治体研修会・大会、に対し、教場、体育館、グラウンド等施設を貸し出しました。
- (5) 市行事への参加
 - ・苫小牧港祭り「市民おどり」に学生及び教職員が積極的に参加し、地域貢献に努めています。
- (6) 図書館での展示
 - ・「甦る源氏物語 - 華麗で優雅な世界へ誘います」をテーマに展示しました。
 - ・「図書館職員が選んだおススメ本」をテーマに展示し、授業、レポート作成のための図書ではなく、気軽に読める「楽しむ本」を紹介しました。

【駒澤大学高等学校】

公開講座

学校施設を開放して近隣住民や保護者を対象とした参禅会を実施しました。その他、地域の子どもたちを対象として剣道教室・柔道教室を実施し、地域とのコミュニケーションや連携を図りました。

【駒澤大学附属岩見沢高等学校】

地域行事等への積極的参加

地域町内会行事に吹奏楽部や補助手伝い等の参加を通じて地域と交流を図りました。また、全校生徒による地域ボランティア清掃に参加し、市民との交流と環境美化運動に取り組みました。

施設の貸出

坐禅堂を地域寺院に開放し坐禅会を実施しました。また、野球室内練習場を市内の少年野球チームに開放し、施設の有効利用と地域社会との交流を深めました。

地域への奉仕活動

野球部の寮生による地域除雪ボランティア活動を行いました。
全校生徒が農業水利施設緑化運動に参加しました。

【駒澤大学附属苫小牧高等学校】

施設の開放

苫小牧市民を対象に、ホームページやチラシ等で広く呼びかけ、「駒澤高校日曜坐禅会」を本校坐禅堂において、今年度は10回実施しました。

課外活動成果の発表

吹奏楽部や美術部などの活動成果を、コンサートや展示会を通じて近隣の中学生や住民に発表し、学校への理解を深めるよう取り組みました。

・財務の概要

1. 資金収支計算書の推移

(収入の部)

(単位：千円)

科 目	平成18年度	平成19年度	平成20年度
学生生徒等納付金収入	16,141,735	16,636,128	16,883,298
手数料収入	1,016,791	1,071,182	995,994
寄付金収入	219,493	354,026	309,099
補助金収入	2,085,172	2,049,609	2,091,982
資産運用収入	1,073,836	1,950,421	1,391,481
資産売却収入	3,500,667	2,257,333	634,431
事業収入	88,675	94,936	115,557
雑収入	398,780	771,404	655,645
借入金等収入	1,302,000	1,200	25,480,200
前受金収入	7,297,207	7,281,805	7,136,062
その他の収入	7,838,550	8,204,792	6,008,256
補助金繰入額	223,167	75,685	16,420
資金収入調整勘定	7,810,903	8,034,300	7,945,006
前年度繰越支払資金	13,989,115	14,573,070	12,688,652
収入の部合計	47,364,284	47,287,291	66,462,070

(支出の部)

科 目	平成18年度	平成19年度	平成20年度
人件費支出	12,066,654	12,814,235	12,433,134
教育研究経費支出	4,456,848	4,547,241	4,860,154
管理経費支出	1,099,512	978,059	16,498,462
借入金等利息支出	155,250	160,606	275,062
借入金等返済支出	724,466	709,126	13,179,086
施設関係支出	5,352,680	555,382	476,206
設備関係支出	526,529	335,302	362,950
資産運用支出	7,633,218	14,279,948	8,423,910
その他の支出	971,970	472,696	661,572
補助金繰出額	223,167	75,685	16,420
〔予備費〕	0	0	0
資金支出調整勘定	419,079	329,640	478,847
次年度繰越支払資金	14,573,070	12,688,652	9,753,961
支出の部合計	47,364,284	47,287,291	66,462,070

百円単位を四捨五入しているため、合計と一致しない場合があります。

法人内諸学校間の内部取引額を含む。

2. 消費収支計算書の推移

科 目	平成18年度	平成19年度	平成20年度
学生生徒等納付金	16,141,735	16,636,128	16,883,298
手数料	1,016,791	1,071,182	995,994
寄付金	247,226	378,239	330,877
補助金	2,085,172	2,049,609	2,091,982
資産運用収入	1,073,836	1,950,421	1,391,481
資産売却差額	1,537,136	58,469	13,668
事業収入	88,675	94,936	115,557
雑収入	398,873	771,484	656,062
補助金繰入額	223,167	91,289	16,420
帰属収入合計	22,812,608	23,101,757	22,495,340
基本金組入額合計	4,160,542	2,964,559	3,041,681
消費収入の部合計	18,652,066	20,137,198	19,453,659

(消費支出の部)

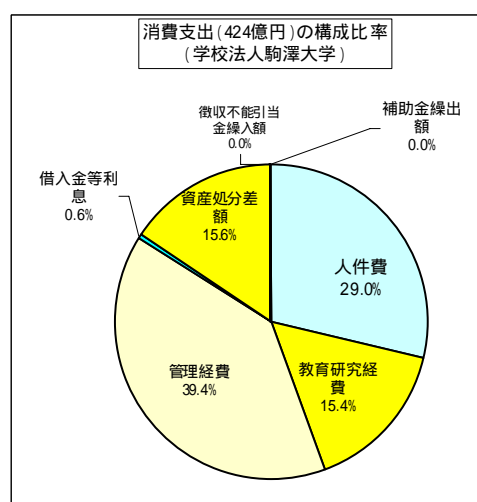
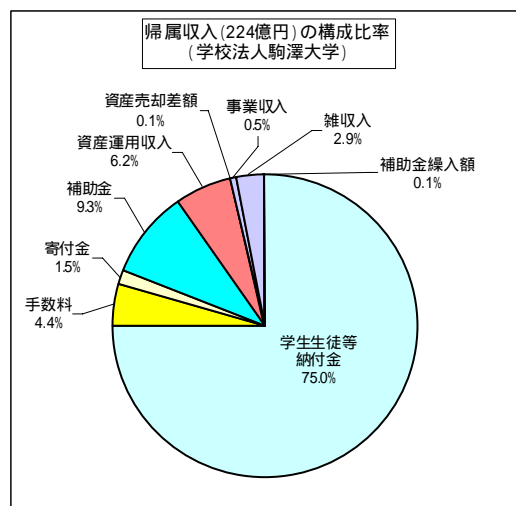
科 目	平成18年度	平成19年度	平成20年度
人件費	11,809,643	12,551,850	12,277,411
教育研究経費	6,031,590	6,227,430	6,523,762
管理経費	1,308,178	1,208,898	16,725,349
借入金等利息	155,250	160,606	275,062
資産処分差額	110,571	20,466	6,610,345
徴収不能引当金繰入額	1,775	2,770	4,104
補助金繰出額	223,167	91,289	16,420
〔予備費〕	0	0	0
消費支出の部合計	19,640,174	20,263,309	42,432,454
当年度消費支出超過額	988,108	126,111	22,978,795
前年度繰越消費支出超過額	7,129,674	8,073,113	8,199,224
基本金取崩額	44,668	0	0
翌年度繰越消費支出超過額	8,073,113	8,199,224	31,178,020

百円単位を四捨五入しているため、合計と一致しない場合があります。

法人内諸学校間の内部取引額を含む。

資産処分差額には、有価証券等評価差額 6,558,200千円を含む。

平成20年度 消費収支計算書の構成比率



3 . 貸借対照表の推移

(資産の部) (単位：千円)

科 目	平成18年度	平成19年度	平成20年度
固 定 資 産	73,681,891	74,493,604	73,437,807
有形固定資産	59,024,308	58,004,604	56,935,813
土 地	17,135,212	17,131,802	17,191,626
建 物	28,617,316	27,747,270	26,579,649
構 築 物	2,902,014	2,820,593	2,786,325
教育研究用機器備品	2,103,293	1,849,924	1,674,464
その他の機器備品	121,894	99,538	83,655
図 書	8,144,516	8,279,859	8,410,750
そ の 他	62	75,618	209,344
その他の固定資産	14,657,583	16,488,999	16,501,994
有 価 証 券	596,250	300,250	400,250
特 定 資 産	13,801,633	15,949,554	15,878,013
そ の 他	259,700	239,195	223,730
流 動 資 産	18,304,029	19,457,469	12,823,457
現 金 預 金	14,573,070	12,688,652	9,753,961
有 価 証 券	3,242,951	5,963,179	2,201,264
そ の 他	488,008	805,638	868,231
資 産 の 部 合 計	91,985,920	93,951,073	86,261,263

(負債、基本金、消費収支差額の部)

固 定 負 債	11,996,157	11,022,162	22,460,549
長 期 借 入 金	7,515,756	6,817,670	18,425,304
退 職 給 与 引 当 金	4,439,829	4,177,444	4,021,721
そ の 他	40,572	27,048	13,524
流 動 負 債	10,910,677	11,011,377	11,820,295
短 期 借 入 金	708,926	699,086	1,392,566
そ の 他	10,201,751	10,312,291	10,427,729
基 本 金	77,152,199	80,116,758	83,158,439
第 1 号 基 本 金	72,068,705	73,409,263	74,650,944
第 2 号 基 本 金	2,500,000	4,000,000	5,800,000
第 3 号 基 本 金	898,340	1,022,340	1,022,340
第 4 号 基 本 金	1,685,155	1,685,155	1,685,155
翌年度繰越消費支出超過額	8,073,113	8,199,224	31,178,020
負債、基本金、消費収支差額合計	91,985,920	93,951,073	86,261,263

減価償却額の累計額	21,123,805	22,859,012	24,483,259
基本金未組入額	8,277,738	7,549,008	6,841,718

百円単位を四捨五入しているため、合計と一致しない場合があります。

貸借対照表（平成18年度～20年度）

